

# 一般社団法人 技術士さいたま (GS法人)

「新技術・新商品開発」 ・ 「モノづくり体質強化」

## 1. 新技術・新商品開発と事業化成功

- ① 推進プロジェクトチームの編成
- ② 補助金の取得支援 ・ 支援専門家報酬支援
- ③ 現場推進・現場で共同研究

## 3. 営業・販売支援

- ① 展示会出展
- ② HP・ブログなど IT戦略支援
- ③ (株)技術士ネットサービスによる  
新開発商品の販売

## 2. 企業の困りごと 全て対応

- ① 生産体質 (QCD体質)強化
- ② 営業・販売体質強化
- ③ 人材の確保・育成

中小企業と共に  
元気を

“ みんなのため 自分のため あしたのために ”

企業・大学・GS法人 の連携チームで

I.GS法人 活動方針		活 動 内 容
1.	設立目的 (ミッション)	「みんなのため 自分のため あしたのために」 ① 「結果を出す」：企業の売り上げ増・利益増の実現。 「おカネが回る」こと。 ② 「結果」に応じ 適正なロイヤリティ（リターン）を。 ③ 世界的情勢や経済の流れを観察し、ビジネスの方向性を考える。
2.	目標 (ビジョン)	① 日本のモノづくりは、 <b>新技術・新商品の開発へ重心を</b> 。日本の中小企業は可能である。 ② 世界の中で 棲み分けを考える。 途上国でできるモノは、途上国で。 ③ さいたまから関東へ。日本から世界へ。世界と将来を見渡して活動。
3.	基本方針	① GS法人は <b>旗を振る</b> 。プロデュース的支援。産学官連携で リーダーシップを。 ② たたき台 → 提案 → 説得 → <b>自主・自立的行動</b> （行動なしには 始まらない） ③ 文殊の知恵で。何とか漕ぎ着ける。
4.	推進体制	① <b>技術士 + 「様々な専門家」</b> → カベを越え、他分野に関心を持ち、協力して。 ② 「プロジェクト制」による推進が基本。 ③ テーマ相談会：新テーマ審査。プロジェクトの推進評価・フォロー。
5.	推進方法 (CAP-D システム)	① <b>現状の「実態」を良く見る</b> 。(自分を。周りを。70%以上で。)これが全ての <b>スタート</b> 。 ② なぜそうか。原因は？ 対策案は？ ③ 対策案を絞り、実行計画書・実行体制 を立案。 ④ GO！ → ①に戻る。サークルを回す。
6.	推進ノウハウ	① 様々な専門家などの「 <b>ノウハウの提供</b> 」。→ ツール化。 ① 「 <b>QCDチェックリスト</b> 」:モノづくり企業は、生産体質強化が永遠のテーマ。 ② 「 <b>SED連携</b> 」システム:カベを越えた協力が武器。 ③ 「マーケティング4p」:売れなければ、事業成功はない。 ④ <b>机上</b> の理論学習と、「現場改善での <b>OJT</b> 」の、2本立てで。 ⑤ <b>良い「コミュニケーション</b> 」。意思疎通。共有化。全員で。
7.	新技術・新商品 開発と事業化の 留意事項	① 日本の <b>一人当たりGDP</b> :96年までは <b>世界第3位</b> 。2014年は <b>世界第27位</b> 。一人負け。 ② 日本の企業は400万社弱。 <b>毎年4万社(1%)が店を畳んでいる</b> 。方向性の改善必要。 ③ 新興国の企業は 日本人技術者が何年も支援。同じ土俵の <b>コスト競争では 消耗戦に</b> 。 ④ 日本企業の得意とする <b>新技術・新商品の開発力を生かす新しい仕組み</b> が必要。 ⑤ <b>新開発商品の事業化成功は 千に1つ</b> 。従来のやり方を改善すべき時である。 ⑥ 従来の産学官連携では、専門家はアドバイスのみ。今後は <b>リーダーシップ</b> が必要。 ⑦ 「GS法人」発で、他の専門家との <b>協力・連携</b> で、結果を出す仕組みを 世界初で創る。 ⑧ 「本当に」 <b>喜ばれるモノ・サービス</b> は、世界的に不足している。これを探し続ける。

II. GS法人 活動内容 詳細		ツール	推進者	備考
1.	<b>新技術・新商品の開発と事業化</b> ① チーム編成（企業・大学・専門家群） ② 補助金の申請・取得支援 （企業負担の軽減、支援報酬取得） ③ 実務推進 （3 現主義：現場・現実・現物）  <事例> ア. スターリングエンジン 応用商品の 開発 イ. 筋トレ ロコモ（心身の健康増進） ウ. 寝たきり補助器（トイレ・シャワーは自分で） エ. ストロークエイト（ストロー部品の組立遊具）	a. <b>CAP-D による推進</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>PDCA → CAP-D</b> </div>  b. <b>QCD チェックリスト</b> Q : Quality 品質 C : Cost コスト D : Delivery 納期  c. <b>SED 協力開発システム</b> S : Sales （販売部門） E : Engineering （生産部門） D : Development （開発部門）  d. 技術・経営評価システム （テーマ相談会）	宍戸 三井 渡辺 矢澤 山脇 川瀬 斎藤 下垣 野村 室 中村	[GS 専門家活動スタンス]  <b>イ. 結果責任</b> -1. プロデュース的支援  -2. 専門家の協力・連携 ・専門性の壁を越える ・他分野にも関心 ・共同研究的  -3. 現場重視  <b>ロ. 相互信頼</b> -1. コミュニケーション -2. 提案と 自主的行動 -3. 知恵出し・摺合せ  <b>ハ. 学習・進歩</b> -1. 継続的学習と改善 -2. ツールの改善 -3. 研修・勉強会と共有化
2.	<b>企業の困りごとに 全て対応</b>  ① 最適専門家群 による 改善推進 ア. 体質総合診断・改善方向 研究 イ. <b>QCD課題</b> の現場チェック ウ. <b>人材確保・育成</b> の推進 エ. その他何でも  ② リーズナブル費用（当初 無料相談）			
3.	<b>営業・販売支援と ビジネスルール</b>  ① 各種 展示会出展 ② IT戦略の構築 ③ 「 <b>㈱ 技術士ネットサービス(Gネット)</b> 」 による 新開発商品の販売	a. 販売専門家ノウハウ b. HP・ブログなど c. 販売ロイヤリティのルール	野村 下垣 矢澤 山脇 川瀬 中村 その他	<b>ア. 販売支援と事業成功化</b> <b>イ. 販売専門家等との連携</b> <b>ウ. ITの効果的活用</b> <b>エ. ノウハウの蓄積</b>

「一般社団法人 技術士さいたま（通称：GS法人）」 URL： <http://gs-ipanshadan.jp/>

住所：〒330-0064 さいたま市 日刊工業新聞社さいたま総局内

連絡先：理事長中村憲雄自宅 〒350-1301 埼玉県狭山市青柳 63-20-103 tel 090-4092-4995

#### 担当窓口（連絡先）

担当業務	氏名	電話	GS法人 メールアドレス
理事長	中村 憲雄	090-4092-4665	<a href="mailto:info@gs-ipanshadan.jp">info@gs-ipanshadan.jp</a>
総務委員長	斎藤 稔		
IT委員長	矢澤 清志		

# 入会申込書

一般社団法人 技術士さいたま 理事長 殿

ふりがな  
入会申込者 氏 名 印

私は、「一般社団法人 技術士さいたま」に入会を申し込みます。

所属・専門分野など： \_\_\_\_\_ (ご自由に記載)

住所（自宅・会社など）：〒 \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ 携帯電話番号： \_\_\_\_\_ FAX 番号： \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_

※ 住所欄は、自宅・会社など、いずれかを  で囲って下さい。

会員の種類：（何れかを  で囲って下さい。但し入会に際しては、事前に審査があります。）

1. 正会員（当法人の設立目的に賛同し活動主体で入会する方）：（入会金 20,000 円、年会費 10,000 円）
2. 賛助会員（当法人の事業の、援助活動を主体に入会する方）：（入会金 10,000 円、年会費 5,000 円）

入会後の活動希望：（何れかを  で囲って下さい。）

1. 中小企業に対する 技術・経営の支援：  
（新技術・新商品の開発と事業化。生産体質の強化。補助金取得の支援。知財取得の支援など）
2. 中小企業のよろず困りごとの 相談・アドバイス・現場支援：  
（企業からの様々な相談対応など）
3. 一般社団法人技術士さいたま(略称 GS法人) の運営支援：  
（ホームページ・ブログなどによる企業や顧客との情報交換。新商品などのネット販売実務など）
4. GS法人の賛助が目的：
5. その他・ご自由に： ( )

○申込宛先：〒350-1301 埼玉県狭山市青柳 63-20-103 株式会社 技術士ネットサービス（中村憲雄）内  
一般社団法人 技術士さいたま 入会受付係 宛て （郵送または手渡しが原則）

○入会に関するお問い合わせや相談の 窓口・連絡先： 斎藤稔 （総務委員長）

E-mail： info@gs-ipanshadan.jp

○入会金 + 年会費（合計額） の振込先（銀行口座）

名義： 一般社団法人技術士さいたま  
銀行名： 埼玉りそな銀行 浦和中央支店  
普通 5442700